

# 地域密着型金融の取組み状況 (25年4月～26年3月)

倉吉信用金庫

## 1. 地域密着型金融推進の基本方針

当金庫の経営方針は、『創業の原点である相互扶助の精神を大切に、「地域の為に貢献する」という使命感を再認識し、今こそ地域社会の再生と活性化を目指し「使命共同体」としてその中核となって、中小零細な地元企業の支援、地域住民の豊かな生活の向上、活力ある地域社会の実現に向けて貢献し、そのために強固な経営基盤をさらに確固たるものにし、“小さくても最良のくらしん”を実現すること』であり、地域社会の再生と活性化なくして当金庫の発展はないという認識の下で、地域密着型金融推進に継続して取り組んでいきます。

## 2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

### 《取組方針》

地域金融機関としての特性を発揮し、地域情報ネットワークの活用と、継続的取引関係を通じ、取引先中小企業の創業から成長段階（ライフサイクル）に応じたきめ細かい支援を行うことで、地域の金融円滑化の役割を担っていきます。

### (1) 創業、新事業への積極的な支援

創業、新分野進出に対しては、地域情報ネットワークを活かし、積極的に対応いたしました。

#### ○新規参入・新分野進出への支援

平成25年度の実績 … 10件・21百万円

### (2) 事業及び企業の積極的な再生支援

#### ○貸出条件の変更に積極的かつ柔軟な対応

中小企業金融円滑化対応として、取引先の資金繰り改善を目的として、積極的に対応いたしました。

平成25年度の実績 … 210件・2,933百万円

#### ○鳥取県中小企業再生支援協議会の積極的な活用

平成25年度の当金庫取引先の再生支援協議会案件は、新規案件3先を選定し、

うち2先については簡易型で債務者企業と当金庫が連携し、改善計画を策定し支援を実施しました。

- 産・官・学・金との情報ネットワークを活用した、地域の取引企業への支援
  - ・商工会議所が中心となって運営している産・官・学・金の会「中部元気クラブ」に当金庫役員が中心となって参加し、積極的に情報交換しています。
  - ・農商工連携による新産業の創出からの地域活性化を目的とする「新産業共通基盤会議」に参加するとともに、鳥取大学産学・地域連携推進会議にも1名を登録し、積極的に情報交換を行いました。
- 再生支援先の経営改善指導
  - ・平成25年度は経営支援先31先を定め、うち6先を重点先とし経営改善指導の取組を実施し、経営者とのヒアリングや、営業店長との計画の進捗状況の検討を行いました。

期初 債務者数 (除く正 常先)	うち 経営改善 支援取組 み先数	うち	うち	うち	経営改善 支援取組 み率	ランクア ップ率	再生計画 策定率
		期末に債 務者区分 がランク アップし た先数	期末に債 務者区分 が変化し なかった 先数	再生計画 を策定し ている先 数			
285	31	1	30	31	10.61%	3.22%	100%

### 3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### 《取組方針》

定性情報を含めた地域での情報を活かし、取引先の事業価値を見極める、いわゆる「目利き力」を発揮することで、取引先中小企業に対して積極的に資金供給を行っていきます。

#### (1) 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進

##### ○スコアリング商品及び売掛債権担保融資の推進とABLの検討

- ・スコアリング商品として、鳥取県信用保証協会、県下3金庫が連携し開発した統一商品であるビジネスプライムローンを推進しました。

平成25年度 新規取扱件数 1件・5百万円

- ・また、売掛債権担保融資として、7件・109百万円を取り扱いました。

##### ○シンジケートローンの組成と参加

- ・シンジケートローンの組成、参加実績はありませんでした。

○目利き能力の向上

- ・25年6月20日に、融資レベルアップ研修として、「円滑化法の期限切れと出口戦略」として、17名を対象に実施しました。
- ・25年11月7日、融資レベルアップ研修として、講師に中小企業基盤整備機構の中小機構企業支援部を招き、知的資産活用による知的資産経営支援を目的とした研修を、22名を対象に実施しました。
- ・26年1月21日、中国地区信用金庫協会主催（共催中小企業基盤整備機構）で山陰地区信用金庫を対象に「中小企業支援のための渉外担当者研修」に8名参加し受講しました。
- ・25年11月16日を第1回とし平成26年3月まで計5回にわたり融資レベルアップ研修として、延べ51名を対象に財務2級テキストを活用した研修を実施しました。

#### 4. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

《取組方針》

この地域のみが信用金庫の生きる地であり、金融の仲介は当然として、親睦、研修、情報交換、ボランティア等さまざまな面で中心的な役目を果たし、顧客・地域の活力作りに貢献することにより、地域に必要とされる金融機関であるため、各種の施策を通じて地域経済への取り組みを行っていきます。

(1) 地域貢献に資するイベント・行事の開催と、地元行事への積極的な参加

文化・芸術の発展と街の賑わい創出に向けて、地元新聞社が主催する著名人による写真、絵画等の展覧会の協賛を継続するほか、以下の活動を行いました。

- ・25年度は4・7・10・1月の4回「くらしん囲碁大会」を開催し、地域の子供から高齢者まで毎回100人以上のファンに参加いただきました。特に、1月に開催した新春大会は、プロ棋士2名を招聘して開催し120名を超える参加者で賑わいました。この囲碁大会では、毎回地元出身のプロ棋士の指導碁等もあり、新規の参加者が増加しており、地域の囲碁の活性化に貢献しています。
- ・25年8月に開催の倉吉打吹まつりには、みつぼし踊りに約40名の職員が参加して、地域の人々と交流しました。
- ・25年11月、健康づくりを主体とした地域密着行事として「くらしん健康ウォーク」を開催し、250人の参加者を得ました。
- ・25年12月、当庫の若手職員で組織する「くらしんヤングコア」が福祉施設の清掃活動および街頭歳末助け合い募金を実施し、集まった募金を地域の社会福祉協議会に寄付しました。

・25年12月、地元の福祉施設2先に対して、恒例の新米を寄贈しました。

## (2) ビジネスマッチングの推進

第3回となる山陰6金庫合同開催の「山陰しんきんビジネスフェア」を平成25年11月に米子コンベンションセンターにて開催しました。当金庫からは9事業先が参加し、うち商談成立先が5先、継続交渉先が10先となっており、引き続きフォローしていきます。

第4回となる「山陰しんきんビジネスフェア」が平成26年10月24・25日の2日間、出雲市で開催予定であり、現在、その準備を進めています。

地元開催のビジネスイベントだけでなく、他地区のイベントへの参加についても積極的に取り組んでおり、北おおさか信用金庫主催の「うまいもん市 in 万博」に当金庫のお取引先2先が参加されました。また、おかやま信金が中心に開催されている「岡山しんきんビジネス交流会」へも、山陽方面への展開を考えているお取引先に紹介を行った結果、1先が出展されました。

また中国地区しんきんビジネスマッチングサービスへの登録により、お取引先に対する情報還元等の幅がより一層広がりました。

信金中金ビジネスマッチング情報については、新しい登録が入り次第、全営業店へ連絡することにより顧客への情報提供を行っています。

## (3) 地元での買い物、発注を推奨する「地賛地商」運動の展開

地域経済の活性化を図る為、倉吉信用金庫では「地賛地商」をスローガンにしたPRポスターを平成22年度に作成・配布しましたが、25年度に入ってから一部のお店等から掲示したいとの希望があり、外郭団体の講演会において参加者へ配布するなど、ポスターの活用を継続しました。